

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成30年度取組結果】

団体名	福岡北九州高速道路公社
-----	-------------

所管課	建築都市局 都市交通政策課
-----	---------------

<p>団体に対するミッション</p> <p>本市の区域において、指定都市高速道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与する。 これを遂行するために、安全性を確保しつつ計画どおりの着実な償還ができるよう、利用者数の拡大に取り組む。</p>

<p>行財政改革大綱における見直し内容</p> <p>安全性を確保しつつ計画どおりの着実な償還ができるよう、引き続き利用者の拡大に取り組む。</p>

ミッションに基づく中期計画

3~5年後に目指す状態	着実な償還を推進するとともに、道路を健全な状態に維持し、お客様に安全・安心・円滑な質の高いサービスを提供する。
-------------	---

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）								
	H28	H29	H30		R1	R2	R3	R4	
	実績	実績	目標	実績	目標	目標	目標	目標	
交通量（台/日）	92,102	92,885	前年度水準を維持する	92,304	前年度水準を維持する	—	—	—	→
緊急措置発生数（件）	0	0	0	0	0	0	0	0	

ミッションの遂行状況の評価（平成30年度）

<p>団体における評価</p> <p>平成26年度に策定した点検計画に基づき、計画的な維持・修繕に取り組んだ。 国が定める統一的な基準に基づいた橋梁、トンネル等の近接目視点検を実施した結果、緊急措置発生件数はゼロであり、安全性の確保に努めた。 交通量については、平成30年7月豪雨の影響等により、対前年度比0.6%の減少となった。</p>	<p>市の評価</p> <p>平成26年度に策定された点検計画に基づき、計画的な維持・修繕を実施するとともに、橋梁、トンネル等の近接目視点検を適切に実施した結果、緊急措置段階発生件数をゼロとするなど、道路の安全性の確保を図っている。 交通量は平成30年7月の豪雨の影響により、前年度比で減少したものの、着実な償還ができていたため、一定の評価ができる。</p>
<p>今後の課題及び見直し内容（案）</p> <p>今後、橋梁、トンネル等の道路構造物が高齢化していくことを踏まえ、5年に1回の頻度で近接目視点検を確実に実施することで、道路の安全性を確保していく必要がある。また、早急に災害復旧に取り組むことにより、安全性の確保に努めていきたい。なお、利用促進については、ホームページの情報内容の充実、イラスト地図の設置個所の見直し及び新規配布先の開拓、外部広告媒体への広告掲載等を行い、既存顧客の確保及び新規顧客の獲得を目指す。</p>	<p>団体への改善指導内容（案）</p> <p>昨年度に引き続き着実な点検業務を行うとともに、災害復旧にも早急に取り組むことにより、安全性の確保に努めること。また、利用者数の増加を目指して利用促進に取り組むこと。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	—
<p>ミッションの課題と同様、今後、橋梁、トンネル等の道路構造物が高齢化していくことを踏まえ、5年に1回の頻度で近接目視点検を確実に実施することで、道路の安全性の確保に努めた。 また、利用者の拡大を図る方策として、イラスト地図の設置個所の見直し及び新規設置先の開拓、子供や新規免許取得者向けの冊子への都市高速の広告掲載、SNS（LINE）による情報発信及び利用登録者数増加の推進など、既存顧客の確保及び新規顧客の獲得を行った。</p>	